

# 平成29年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（東部会場）】

## 1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各単位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

## 2 日時・場所

日時：平成29年6月10日（土）13：00から15：40

場所： 国府町コミュニティセンター（中央公民館）

## 3 日程

12:30 13:00 13:30 13:40 15:40

受付	開会行事 施策説明	休憩 移動	分科会	閉会
----	--------------	----------	-----	----

## 4 参加対象

○東部地区 小・中学校 各単位PTA役員2名程度（毎年実施している本研修に未参加の方が望ましい）

## 5 内 容

### (1) 開会行事・施策説明

○主催者あいさつ

○施策説明：鳥取県教育委員会 東部教育局 社会教育担当 社会教育主事 広富 隆史 氏  
鳥取県教育委員会 人権教育課 社会教育担当 係 長 寺谷 孝志 氏

### (2) 分科会

#### ■第1分科会

- テーマ：年間行事や企画の広報紙での取り上げ方
- 発表者：岩美町立岩美中学校 PTA、鳥取市立若葉台小学校愛育会、学校法人鶏鳴学園青翔開智中学校 FTA
- 講師：新日本海新聞社 取締役専務執行役員 営業事業担当兼営業局長 田中 仁成 氏
- 内容：3 PTAの実践発表と新聞作成のプロからの視点から講話いただき、実際の紙面を見ながら読まれる広報紙・読みごたえのある広報紙への改善点等をわかりやすく教えていただきます。

#### ■第2分科会

- テーマ：PTAを円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について
- 講師：島根大学保健管理センター 教授 荒川長巳 氏
- 内容：PTA 役員になると、会議等で司会や進行役になる事が多々あると思います。立場のちがう人達から意見を聞き出したいのに、いつも発言力がある人が目立ち、一言も意見を発さない人がいて、なかなか思うように会議が進まない・・・そんなことはありませんか？ファシリテーションとは、集団活動がスムーズに進むように、また成果が上がるように支援することをいいます。PTA を円滑に進めるために、ファシリテーション技術を学んでみませんか？

#### ■第3分科会

- テーマ：「この年頃にありがちなこと～子育て（親育ち）で大切にしたいこと～」 人権教育プログラムより
- ファシリテーター： 県教育委員会人権教育課より派遣 鳥取県人権アドバイザー 佐藤 敦子 氏
- 内容：子供の成長に伴って起こりがちな場面をもとに課題を整理したり対応を考えたりすることをとおして、子どもにとって最も良いことは何かということについて一緒に考えてみましょう。

#### ■第4分科会

- とっとり子どもサミット～インターネット編～
- 講師：鳥取県教育委員会 社会教育課 生涯学習推進担当 社会教育主事 河合淳一 氏  
※自身のお子様ワークショップに参加される方を優先にします。  
※子どもたちが主体となる為、大人は見学のみ参加となります。

主催：鳥取県PTA協議会

## 平成29年度 鳥取県PTA指導者研修（東部地区）参加アンケート集計

平成29年6月10日 国府コミュニティーセンター

1. 学校区分 小学校 51・中学校 24・その他 3 回答数 76  
2. 参加分科会 第1分科会 17（広報紙） ・ 第2分科会 31（ファシリテーション）  
第3分科会 24（人権教育） 第4分科会 4（子どもサミット）

### 3. 分科会について

(1) テーマについて 良い 57 ・ だいたい良い18 ・ あまりよくない 1

(2) 研修した内容を各学校で活用しようと思えますか

ぜひ活用したい 30 ・ 今後検討したい 43 ・ 活用は難しい 1

#### 【ぜひ活用したい 理由】

(第1分科会)

- ・ 具体的な内容だったので、すぐ取り入れられそうだったから（第1分科会参加者）
- ・ 広報部付きの副会長であり、今の時分はレイアウトなどについて話し合いをしている時であったため
- ・ すぐわかりやすく説明などしていただき、大変参考になりました
- ・ もっとPTA主体企画やPTAの本音を引き出すものがよいと思いました
- ・ 当学校の広報誌は、PTA広報というより、学校新聞となっているため、賞をもらうようなPTA広報にはなりえないという現状ですが、紙面づくりの面では、大変参考になりました
- ・ 写真の選び方について、レイアウトについて、勉強になりました
- ・ 事例をもとに具体的に広報誌づくりのコツを教えていただいたから「PTAの本音」が伝えられる広報誌を考えたい

(第2分科会)

- ・ 今まで考えていなかったことについての話があり、次の会議で実践したいと思える内容だったため
- ・ バズなど意見を引き出す技術、参考になりました
- ・ 議事進行の技術は、大変有意義でした
- ・ 意見が出やすい、コミュニケーションができる・ためになった
- ・ 会議の進め方がスムーズになると思います・皆の意見が出やすくなるなあと感じた
- ・ トップダウン型ではなく、ファシリテーション型という新しい時代にあった意思決定はすごくいい
- ・ 色々参考になりました・そのために研修に来ました
- ・ やはり会議は重要なので、有意義なものにしていきたいので、活用したいいい内容でした
- ・ 以前からファシリテーションについて学びたいと思っていたので、良い機会でした
- ・ 校内の会議の進行方法に悩んでいたの、参考にしたい

(第3分科会)

- ・ 参加型は、考えるきっかけになりやすいと思うため
- ・ みんなで話し合うワークショップは棚しかったです。ありがとうございます
- ・ テーマが日常起こりうる事で、様々な意見が聞けたから

(第4分科会)

- ・ ネットに関して、子どもの達の生の意見が発表されていいと思いました。グループワークは特にいい

#### 【今後検討したい理由】

(第1分科会)

- ・ 小規模校なので、難しいところがありますが、参考にしたい
- ・ 役員数も少なく、なかなか難しいとは思いますが、取り入れるところは取り入れていきたい
- ・ 各役員の決め方（若葉台を参考）
- ・ 広報誌の作成について、レイアウトの仕方が参考になりました。他校の広報誌は、活動報告が中心で、コンクールは無縁ですが、写真の掲載の仕方は、参考にしたいです

(第2分科会)

- ・ 会議が定例報告会となっているので、議題が出た時に活用したいと思いました
- ・ 会議な話し合いなど、時間がかかるため活用したい
- ・ 仕事、家庭の行事が合えば・最後は参加者が打ち解けて話ができるようになった

(第3分科会)

- ・ グループワークのやり方が初めてで面白かった・活用したい。他校や他地域の方と交流した活用をしたい
- ・ 勉強にもなるし、他の方とのコミュニケーションがとれるいいワークショップでした
- ・ 今後活用できるなら活用してみたい、検討をしたい・内容がよい・いろんな人の意見が聞けて良かった

- ・たくさんの意見があることに気づいた・子どもの気持ちを改めて考える良い機会になる
- ・意見を出しやすい雰囲気を作り出すことを意識したい  
(第4分科会)
- ・子どもとする活動なので、サミットを開こうと思うと準備が大変なため。会の進め方などは参考になった

#### 【活用は難しい理由】

(第1分科会)

- ・例年A4表裏1枚の広報誌を年2回作成しているが、保護者の負担と予算の都合上、冊子での広報誌が作れないのが現状です

#### 4. 今後、研修したい内容があれば記入して下さい

- ・親同士のコミュニケーションの取り方（子どもと同様親（大人）もコミュニケーションの取り方が上手にできない）
- ・障害のある子（身体・学習）に対しての親と子、親と先生との対応や行動について
- ・PTAの保護者、巻き込み力を高める取り組み（負担も少なく）
- ・メディア活用、Youtube との関わり・改正個人情報法・PTA とは？
- ・効率的な収益のあげ方、補助金、助成金交付のもらい方
- ・第2弾（第2分科会）・ファシリテーション研修また受けたいです
- ・子育てについて・広報誌の取り組みを続けて下さい
- ・部活動（運動）することのメリット・デメリット
- ・子ども目線で不登校、いじめのない学校づくり、友達関係づくり

#### 5. 研修会全体を通して、お気づきの点など

- ・会場が寒い4件（第1分科会）・道具（備品）がないレーザーポインター（第1分科会）
- ・マイクのトラブルが多すぎだった（第1分科会）
- ・時間が限られているため、少し進行が速かった。グループで意見を出し合うのがよかった（第2分科会）
- ・大変有意義でした。他の単P役員の方との話し合いの機会、ありがとうございました（第2分科会）
- ・事務局には手間かもしれないが、名札がほしい（第2分科会）・ファシリテーターは、難しいなあ
- ・第2分科会は、会場が狭い。グループワークが近すぎてうるさい。できれば、会場が広ければ良かった。
- ・ビジネス向けの研修だったので（そもそもPTAで合意形成型の会議は少ないです）  
もっとPTAの会議の実態を踏まえた内容になれば、もっと良い研修になると思う（第2分科会）
- ・各校2名程度ではなく、もう少し人数を増やしてはどうか
- ・学校に持ち帰り、今後の活動に生かしていきたいです（第4分科会）
- ・ありがとうございました（2件）
- ・小・中学校の班分けであったが、発達段階に合わせた課題を掘り下げ、より具体的に改善、実施していくためには、小中別が良かったのではないか。大学生が各班に入っていたのは良かったと思う。楽しく温かい雰囲気づくりは、話しやすくなったと思う。企画から準備、運営と大変お世話になりました。（第4）

# 平成29年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（中部会場）】

## 1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各単位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

## 2 日時・場所

日時：平成29年6月18日（日）9:30から12:00

場所：伯耆しあわせの郷（大研修室）

## 3 日程

9:00 9:30 10:00 12:00 終了

受付	開会行事・施策説明	テーマ別研修会	閉会
----	-----------	---------	----

## 4 参加対象

○中部地区 小・中学校 各単位PTA役員3名程度

## 5 内 容

### (1) 開会行事・施策説明／大研修室

○主催者あいさつ

○施策説明 鳥取県教育委員会 中部教育局 社会教育担当 社会教育主事 西村信彦 氏  
鳥取県教育委員会 人権教育課 社会教育担当 係 長 寺谷孝志 氏

### (2) テーマ別研修会

#### ■第1分科会／大研修室

○テーマ：PTAを円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について  
○講師：荒川長巳（あらかわ おさみ）さん／ 島根大学保健管理センター 教授  
○内容：PTA役員になると、会議等で司会や進行役になる事が多々あると思います。立場のちがう人達から意見を聞き出したいのに、いつも発言力がある人が目立ち、一言も意見を発さない人がいて、なかなか思うように会議が進まない・・・そんなことはありませんか？ファシリテーションとは、集団活動がスムーズに進むように、また成果が上がるように支援することをいいます。PTAを円滑に進めるために、ファシリテーション技術を学んでみませんか？

#### ■第2分科会／中研修室

○テーマ：「ふつうさあ・・・」 人権教育プログラムより ～多様性・居場所づくり～  
○ファシリテーター：鳥取県教育委員会人権教育課より派遣 伯耆町人権教育推員 青戸 智子氏  
○内容：私たちが「ふつうは〇〇だよ」のように「ふつう」という言葉を用いて様々な判断をしていることがよくあります。私たちが日頃使っている「ふつう」について、いろいろな事例を通して、人によってとらえ方が違う場合があるということを考えてみましょう。そして、多様性を認めることの大切さについて考えてみましょう。

#### ■第3分科会／小研修室

○テーマ：「ピンチはチャンス!!」（新人会長さん向け）  
○講師：井上洋子（いのうえ ようこ）さん／ 元鳥取県PTA協議会会長  
浅雄淳子（あさお あつこ）さん／ 前鳥取県PTA協議会事務局長  
○内容：PTA会長になっちゃったけど、みんなをまとめていけるのか？人前でちゃんと話せるのか？と不安でいっぱいの人権会長さんもいらっしゃると思います。先輩会長さんの成功、失敗談を参考にしながら、PTAってどんなところなのか、どんなふうにして行ったらいいのかを考えてみましょう。

主催：鳥取県PTA協議会

# 平成29年度PTA指導者研修会 参加者アンケート集計結果及び反省

【PTA指導者支援事業（中部会場）】

## 【研修会内容】

- ・第1分科会 「PTAを円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について」
- ・第2分科会 「ふつうさあ・・・」人権教育プログラムより 多様性・居場所づくり
- ・第3分科会 「ピンチはチャンス！」（新人会長さん向け）

【指導者研修会参加者（学校区分）】 87人

【参加者アンケート回収状況（学校区分）】 85.1%

（小学校58人、中学校28人、その他1人）

（第1分科会78.1%、第2分科会89.7%、第3分科会88.5%）

	小学校	中学校	その他	参加者数	参加率%
第1分科会	21	10	1	32	36.8%
第2分科会	17	12	0	29	33.3%
第3分科会	20	6	0	26	29.9%
合計（人）	58	28	1	87	100%
率（%）	66.7%	32.2%	1.1%	100%	

	参加者	回収数	率（%）
第1分科会	32	25	78.1%
第2分科会	29	26	89.7%
第3分科会	26	23	88.5%
合計（人数）	87	74	85.1%

## 【研修会参加者アンケート集計結果】

1、学校区分 アンケート回収数74人（①小学校51人、中学校23人）

2、参加分科会 ①第1分科会 25人 ②第2分科会 26人 ③第3分科会 23人

	小学校	中学校	回収数
第1分科会	18	7	25
第2分科会	16	10	26
第3分科会	17	6	23
合計（人）	51	23	74

3、分科会について

(1) 分科会のテーマについて

	良い	おおむね良い	あまり良くない	良くない
第1分科会	20	5	0	0
第2分科会	24	2	0	0
第3分科会	18	5	0	0
合計（人）	62	12	0	0
率（%）	83.8%	16.2%	0	0

（理由等）

### 【第1分科会】

- ・会議の進め方について充実させる手順、段取り、技術をたくさん教えていただき良かった。
- ・PTAだけでなく、職場でも必要なことであり大変参考になった。
- ・今後のPTAの会合や会議に役立てたい。
- ・難しい内容だったけど、納得できる部分も多くあった。
- ・分かりやすく今後のためになった。今後に活かそうです。
- ・PTAの活動だけでなく、人と人とのつながりに（見てしっかり聞く、共感する）必要な内容だった。
- ・よく進行役に充てられる事があり、スキルアップしたいと思っていたので良かった。
- ・会議の進め方にいつも不安があった。会議を円滑に進める勉強になった。
- ・会議をスムーズに進めるために、出席者の不満や不安なく進める方法について学ぶことができとても良かった。
- ・もう少し時間が・・・と思いました。

・部長にとって会議をすることが多く、意見が出なくて困ることがあり、今日のテーマを選びました。とても参考になりました。

#### 【第2分科会】

- ・「ふつう」について考えさせられた。他の親にも受けてみてほしいと感じた。
- ・グループごとに様々な意見を聞くよい機会となった。
- ・グループとして考えやすく、とても分かりやすく、身近に使う言葉だったので、話し合いも進めやすく、意見もやすい内容だった。
- ・身近で起こりうる事だったので理解しやすかった。新たな気づきになった。
- ・自分の事に置き換えて考えられた。
- ・価値観や他の保護者の考えが出やすく話しやすい内容で良かったと思います。
- ・普段使ってしまう言葉なので、あまりピンとこないですが今日あらためて意識しようと思いました。
- ・身近な言葉、事例を通してグループで考えることができた。自分の行動も振り返る事ができた。
- ・いろいろな価値観や意見があることが再認識できた。
- ・何気なく使っている言葉の意味を考える良い機会となりました。
- ・自分が普段使っている言葉がいろんな意見にとられることが分かった。
- ・普段何気なく使っている言葉をこんなに考えることがなかったのでもいい経験になった。

#### 【第3分科会】

- ・小グループに分かれてのグループ討議がよかった。PTAのあり方について考えることができた。
- ・会長職に不安が大きいと、同じ立場の人達の意見が聞けて、少し不安が解消した。
- ・講師さんの経験談と具体的な会の進め方などが参考になった。
- ・人と人をつなぐ立場だということを大切にしたい。
- ・具体的な行事の必要性をディスカッションできて、より具体的に考えることができた。
- ・楽しく話し合うことができ、PTA活動のヒントをいただきました。実行に移したいです。
- ・今後のPTAで役に立つ内容でした。
- ・同じような立場の人から刺激を受けることができました。
- ・とても分かりやすく、参考になる内容だった。
- ・勉強になり視野がひろがり、ヒントや新しい発見がありました。
- ・自分には必要ないテーマだと思っていたが、色々と参考になった。

#### (2) 本日の研修内容を各学校(単位PTA)で活用したいと思いますか。

	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない
第1分科会	20	4	1	0
第2分科会	17	8	1	0
第3分科会	16	7	0	0
合計(人)	53	19	2	0
率(%)	71.6%	25.7%	2.7%	0

※あまり思わない：いずれも中学校保護者が解答

(理由等)

#### 【第1分科会】

- ・役員選出や会議で活用したいと思う。
- ・不安な人もいると思うので、リーダーは否定することなく進めたいです。
- ・ファシリテーションについてもっと学び活かしていきたい。
- ・楽しく役員会をしたいと思った。
- ・スムーズで活潑なPTA活動ができるように活用したいです。

- ・会の進め方が分かったので実践出来たらと思います。
- ・参加者に不満の残らない会議にしたいと思います。
- ・意見が出ない、同じ人だけしゃべる状態があるので、アイスブレイクはぜひ使ってみたい。
- ・アイスブレイク、感謝、ゴールイメージ等、参考になるキーワードがたくさんあり早速役立てられるよう頑張ってみます。楽しい分科会でした。
- ・ファシリテーション役は重要だが、難しいとも思える。

#### 【第2分科会】

- ・ふつうって何だろう？とは確かに普段でも思うことなので。
- ・身近で起こる事に置き換えれば理解しやすい。
- ・グループだとコミュニケーションも図れる。
- ・時間づくり、時間設定が今の学校行事の中でとれればいいと思っている。
- ・考えの違いを個性であると受け止める子どもになってほしいと思うので。
- ・人権保護者研修会や高校の人権でできるとよいと思いました。
- ・資料を読んで使っていきたいと思う。
- ・研修資料は、人権部長さんにも渡して参考にさせていただきたいと思います。
- ・テーマが違って、方法は取り入れたい。保護者同士の顔も分かり名前も知れてよい。
- ・誰でも使う言葉から考えが深まると思うから。

#### 【第3分科会】

- ・行事の見直しの参考になり、勉強になった。部会で役立てたい。
- ・前年度県の「子育て親育ちファシリテーター」を活用しとてもよかったので、また活用させていただきたいと思っている。参加型で楽しいPTAにしたい。
- ・丁度、部の再編を検討しており、今回行った行事の必要性の議論をできたらと思います。
- ・先生、会長が話しっぱなしの会が多いので、グループで話し合える運営委員会を開いてもいいのではと思えた。
- ・よい流れをつくりたい。
- ・会議を盛り上げる。活動を盛り上げる手段となるヒントを得た。
- ・周囲の様子を見ながら活用したい。
- ・会員に発言してもらおう機会を増やしたいと思う。
- ・プールのことは改めて考えさせられました。
- ・任意加入の情報、対応の仕方が聞けた。

#### 4、今後、研修を受けたい内容などがあれば記入してください。

- ・子どもの反抗期
- ・ファシリテーター
- ・アサーションについて学んでみたいです。(自分の意見も主張しつつ相手も尊重する技術)
- ・今思春期の子どもがいるので、親業について
- ・グループ討議
- ・スマホの使用方法
- ・子どもたちの安心・安全に関わることについてのお話
- ・人間関係について
- ・他の分科会でされていた内容も受けてみたかったです。

#### 5、本日の研修会全体をとおしてお気づきの点があればご記入ください。

#### 【第1分科会】

- ・とても楽しく学べました。
- ・事務局様、企画、運営お疲れさまでした。

- ・大変勉強になりました。PTA活動に活かしていきたいと思います。
- ・最初と最後では気持ちが違い、また参加したいという気持ちになりました。
- ・アイスブレイクをするだけで、ずいぶん場が和むものだと驚いた。
- ・のどが渇きました。お茶の提供があると良かったです。

#### 【第2分科会】

- ・初めて参加しとても勉強になりました。
- ・単Pでの研修充実のために、講師派遣をお願いしたい。
- ・他の学校のPTAの方と話ができてよかったと思います。意見を聞くことは大事だと思いました。
- ・研修会の講師、司会者の派遣案内があり良かったです。
- ・話し合いとなると緊張するがテーマが定まっていると話やすいのでよかった。
- ・大人も子どもも変わらないと思いました。
- ・役員だけでなく、一般の方（役員でない方）も参加できるとよいと思った。
- ・時間も丁度良く、充実した研修になった。
- ・席（グループ）をもう少し離してほしい。隣のグループの音が聞こえてしまし自分のグループの音が聞こえなくなります。
- ・スタッフの方には、朝早くからお世話になりありがとうございました。
- ・多くの準備がされていて、係りの方々には頭が下がります。

#### 【第3分科会】

- ・よい研修でしたありがとうございました。
- ・主体性をもって活動したいと思います。
- ・ファシリテーション技術で進行も良く内容がよく理解できた。持ち帰って活用したい内容もあった。PTA会長に限定せず役員となる方に参加してもらいたい内容でした。
- ・話す時間がもっとあってもよい。
- ・時間をもう少し長くしても良かった。

#### 【まとめ】感想、今後の検討と方針など

- ① 全体的に参加された方から高い評価をいただき、満足度も高く、今回の研修を前向きに今後活用し実践していきたいという意見も多く聞かれた点では、今後に期待ができるように感じた。
- ② ワークショップ形式を取り入れた分科会は苦手な方もいるが、同じ立場で悩みも共有でき、仲間をつくることのできることで、研修の効果は大きいと言える。この手法で来年度も継続の方向で考え保護者のニーズの高いテーマで行っていきたい。
- ③ この指導者研修会で学んだことを単位PTAで広げ、またこの会の趣旨や分科会の意義を次年度の役員の方にしっかりと引き継ぎ、つなげていく努力を参加者と運営側で行う必要性を感じた。

（運営について今後の検討事項）

- ① 受付の名札は必要で継続する。
- ② 名前を書くペンが細めの名前ペンを準備した方が書きやすかった。
- ③ 接待は、買い出しなどの準備を含めてサポートが必要である。（2名以上）
- ④ グループワークでは、テーブルの配置を考慮し、できるだけ隣のグループの音が気にならないようにテーブルの設定を考えていく必要がある。
- ⑤ 全体の準備を考えると午後開催の方が、スムーズな進行ができる。講師さんとの調整により開催時間を来年度は再検討していく。



# 成 29 年度 P T A 指導者研修会報告【中部会場】 平成 29 年 6/18（日） 伯耆しあわせの郷

**第 1 分科会** 【目的】 P T A 活動を円滑に進めるために必要な会議のファシリテーション技術を身につける。

【目標】 ・ 会議の基本構造と共有の大切さを理解する。

・ 立場のちがう人たちから意見を引き出す技術について理解を深める。

○ファシリテーションとは : 組織、団体、企業など人が複数集まっている集団の成果を最大化するためにプロセスに働きかけることで、ファシリテーターの役割が大きい。

○ファシリテーターとその役割

・ ファシリテーターは中立的な立場でチームのプロセスを管理し、チームの成果が最大になるように支援する人。今はファシリテーター型リーダーの時代と言われる。

・ P T A など自発的に集まっている集団こそ、ファシリテーターの存在が大きい。

・ ファシリテーターは「積極的傾聴」を身につける。

相づち、復唱、要約して確認、沈黙に耐える。(最低 10 秒) 評価・評論、説教、助言は絶対にしない。

〈ファシリテーターが特に注意する点〉

・ 集まった人の思いやエネルギーを大切に。(ネガティブな思いも大切に)

・ 自分が正しいという前提を少し脇に置く。(会議を強引に展開すると参加者に納得感がなくなる。)

・ 出席者の置かれている状況を理解しようとする。

・ 忙しいのに出席してくれてありがとうという感謝の念を持つ。 ⇒感情を受け取って、受け入れる。

○会議のファシリテーション

① 場をデザインする (共有) →会議は準備で 7 割が決まってしまうので段取りが大事。

意見が出やすい雰囲気を作る。

② 意見を発散させる →十分発散させないと、議論がぶり返す。

③ 意見を収束させる →発散と収束のタイミングを見極めることが大切。

④ 合意形成、決定

※今回の研修では①②を学習

① 場をデザインする

・ 会議は段取りが一番であり、意見の出やすい雰囲気を作ることが大切である。

・ 相互理解を通して信頼感を醸成し、会議を安心・安全な場にすることが大切。そのためにも、どんな参加者がいるか共有し、会議の目的と目標、スケジュール、参加者の役割、ルール等を確認、共有する。

・ まずはゴールイメージを決めて共有する。(ゴールイメージがバラバラだとまとまらない。)

・ 会議が収束しない理由として、キーワードの定義が違うことが多いので、事前にキーワードの定義を決定、共有する。

・ 議事録を残し、必ずみんなで確認する。

・ 安心、安全の場づくりのため意見の出やすい雰囲気をつくる。(アイスブレイク)

※アイスブレイク=人と人のわだかまりを解いたり、話し合うきっかけをつくるためのちょっとしたゲームやクイズ、運動など。場の緊張をとり、話しやすくする。

② 意見を発散させる

・ 「意見の量が、結果の質を担保する」が原則であり、傾聴と質問で意見を引き出すことが重要。

・ 意見を発散させる場において、否定・批判(ダメ出し)や責任追及(言い出しっぺがやれ!)は絶対にしない。

・ 傾聴以外で意見を引き出すには、以下の方法もある。

シンキングタイム (一人で考える)

→メモ(付箋)に書きだし

→バズ(2、3人の小グループでの短い話し合い)

→ストラクチャードラウンド（発言時間を決め、一人ずつ順番に意見を言う）

- ・ホワイトボードの活用（発言のプロセスやポイントの共有、発言が取り上げられたことの確認、発言者と意見の内容の切り離し等の効果）⇒みんなに「見える化」
- ・意見の発散が中途半端だと会議が進まないの、とにかくいろんな意見を出し切ることが大切。

#### 【第一分科会 資料説明】

#### ① P1 会議が変われば活動が楽しくなる

- ・いろいろな人が集まるPTAの運営や会議は企業よりも難しい。
- ・会議の前に結論をイメージする。 例：今年はスポーツ大会を開きたい。
  - 1) 最初にゴールイメージを作る
  - 2) どういうスポーツにするか決める（ここが先だと、スポーツの選択肢が多くなり、会議が進まなくなる）

#### ② P5 ファシリテーションとは

- ・意思の決定の質や内容より、メンバーの納得度やプロセスが大事。

#### ③ P8 会議の不満！！

- ・意見を言わないので進まない。何も意見が出ない。・他人事のような参加者がいる。・発言しても流されてしまう。・主題からはずれた内容になってしまう。・終わった議題を蒸し返す。・黙っていて目が怖い。発言しても流されてしまう。・決まった人しか発言しない。・自分の意見を押し通す人がいる。発言力のある人の意見が通ってしまう。

#### ④ P12 場をデザインする5つの要素を確認する。

- ・やり方とスケジュール：議題は疑問形に。 ㊦ 最高のスポーツ大会にするにはどうすればいいか？
- ・タイムキーパーを作る。（口うるさい人にやってもらうとベスト）

#### ⑤ P14 ㊦ 会議が終わったとき、どうなっていればいいのか、ここをきちんと決めておくことが大事。

#### ⑥ P15 ホワイトボードの使い方 ㊦ ・関係ない意見が出たらパーキングロットに書いておく ・目標に向かって話をする。

#### ⑦ P18 会議の進め方 ・どういう場でどんな参加者がいるかを共有する。

#### ⑧ P19 ファシリテーターの存在は大きい！ ・参加者それぞれの居場所を作る。

#### ⑨ P23 意見の出やすい雰囲気を作る（アイスブレイク）ハードルを上げすぎず、言いやすい自己紹介など ㊦ 24時間でもよかったこと。新しく発見したこと

#### ⑩ P25 ①各テーブルで自己紹介をします。 ②2分で言いたいことを作る。③次の人がタイムキーパーになる。

④場の緊張を取る。⑤終わってから10分前のテーブルの雰囲気を考える。隣の人と意見を交わす。

#### ⑪ P28 会議のファシリテーション

- ・意見を発散させる。十分発散させ、混沌を恐れない事。一度意見を出し尽くし、トイレなどの休憩を取り、もう一度意見を発散させる。

#### ⑫ P33 傾聴以外で意見が出やすくなる工夫

- ・一人で考えたりメモを取ったりする時間を30秒ほど設ける。
- ・バス→話慣れていない人のシュミレーションにもなる。

#### ⑬ P40 模擬会議 自信のなかった全保護者の会話が増える。

#### ⑭ P41 ファシリテーターの役割 書いてある事、全部要チェックです。

#### ⑮ P39 チェックシート パーキングロットを作っておく。

#### ⑯ まとめ ・会議に参加していただいたことに感謝の念をもって。

- ・PTAの会議は難しいという事を念頭におく。もしくは、会議が煮詰まったときに、一言いう。「難しいけれど、頑張ろう」的に。

## 第2分科会

テーマ：「ふつうさぁ・・・」人権教育プログラムより ～多様性・居場所づくり～

ファシリテーター： 青戸智子さん 伯耆町教育委員会事務局人権教育推進委員

### 1、自己紹介

最近の気になるニュース・子どものこと

### 2、アイスブレイク

「宇宙人（人間を知らない人）に人間を説明すると？」

講師より：いろいろな事項、すべての人に当てはまることはない

言葉を発せられない人もいる。服を着ない人種もある。

### 3、展開

「ふつうさぁ・・・」 模造紙に5項目の事例をグループごとに「ざっくばらんトーク」

### 4、回覧

各グループのまとめた表を全員で回覧 気づくことをシールに貼る。

### 5、まとめ

でた意見や感想を全体を見てまとめる。

### 6、講師からのまとめ

保護者の価値観の多様性・・・子どもへの教育

保護者同士の意思疎通・気づき・・・子どもへの安心安全



居場所づくりにつながる

## 第3分科会

「ピンチはチャンス！」（新人会長さん向け）

【説明】会長の役割とは

学校と家庭のパイプ役

親同士の協力、繋がりをつくる。

子どもたちの実態を知り、どうしたら頑張れるのか考える。

【アイスブレイク】

①講師対参加者のじゃんけん→固くなった気持ちを和らげる。

②自由に動いて、参加者同士で5回負けるまでいろんな人とじゃんけん  
→負けた人から並び、グループを分ける。

【グループワーク】PTA行事の見直し

現在自分の学校で行われている行事を書き出し、必要度を5段階で考える。

自分が評価した必要度の理由を書き出す。

グループの中で、いくつかの行事（どこでもやっついそうなものを選んだ）について意見交換し、それぞれの学校での取り組みや参加者の考えを発表しあう。

- なののためにしている行事なのか（目的）→課題、改善点を考える。
- 対象者はだれなのか
- 自分の学校の実態にあわせて見直す or どう考えても不要な場合は廃止する。

【その他】

会議にひつようなもの

→参加（とにかく参加してみる）・尊重（そうなんだー）・守秘（必要な時は、口外しないという約束）

PTA（ボランティア）原則→出来る時に、出来る人が、出来ることをする。

きずなが固すぎる団体には加入しにくい→きずなはゆるーく。

日頃から、参加して下さった方への感謝を口に出す。

楽しんでもらえるように、大事にする。

サポートをしっかりと、次を育てる。

ひとりでやらなくてもいい。

みんなに助けってもらって活動するという意識。

# 平成29年度PTA指導者研修会 開催要項

【PTA指導者支援事業（西部会場）】

## 1 趣 旨

家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織であるPTAの役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA指導者研修会」を実施することで、役員から各単位PTAに研修内容を広げていき、PTA活動の活性化、子ども達の基本的な生活習慣の定着化、学習環境の整備を図る。

## 2 日時・場所

日時：平成29年6月25日（日） 14：00から16：30

場所：米子コンベンションセンター

## 3 日程

### 第1分科会

13:30 14:00 14:10 14:20

16:30

受付	開会	人権教育プログラム	分科会	質疑 まとめ	閉会
----	----	-----------	-----	-----------	----

### 第2分科会

13:30 14:00 14:10

15:20 15:30

16:30

受付	開会	分科会	休憩	分科会	質疑 まとめ	閉会
----	----	-----	----	-----	-----------	----

## 4 参加対象

○西部地区 小・中学校 各単位PTA役員3名程度

## 5 内 容

### ■第1分科会

#### ①「人権教育プログラム」について説明

鳥取県教育委員会 人権教育課 社会教育担当 係長 寺谷孝志氏

平成27年度に引き続き、平成28年度に作成された人権教育プログラムを紹介します。

#### ②PTAを円滑に進めるための会議運営方法と必要なファシリテーション技術について

○講師：荒川長巳（あらかわ おさみ）さん／ 島根大学保健管理センター 教授

○内容：PTA役員になると、会議等で司会や進行役になる事が多々あると思います。立場のちがう人達から意見を聞き出したいのに、いつも発言力がある人が目立ち、一言も意見を発さない人がいて、なかなか思うように会議が進まない・・・そんなことはありませんか？ファシリテーションとは、集団活動がスムーズに進むように、また成果が上がるように支援することをいいます。PTAを円滑に進めるために、ファシリテーション技術を学んでみませんか？

### ■第2分科会

○広報紙作成について

○講師：新日本海新聞社 西部本社 編集局長 澤田圭太郎氏

○内容：新聞作成のプロからの視点を講話いただき、実際の紙面を見ながら読まれる広報紙・読みごたえのある広報紙への改善点等をわかりやすく教えていただきます。

主催：鳥取県PTA協議会

平成29年度PTA研修会アンケート結果の概要(西部)

1 参加者数	活動推進	55	名	(申込み58名)	95	%
	広報部会	46	名	(申込み53名)	87	%
	合計	101	名	(申込み111名)	91	%

2 アンケート回収状況	活動推進	49	名
	広報部会	43	名
	合計	92	名

3 学校区分について

活動推進	小学校	29	名	広報部会	小学校	31	名
	中学校	26	名		中学校	15	名
	合計	55	名		合計	46	名

4 分散会内容について

活動推進	良い	37名	78%	まあまあ良い	10名	21%	あまり良くない	0
広報部会		36名	83%		7名	16%		0

5 分散会内容を各学校で活用するかどうか

活動推進	是非活用したい	27	55%	今後検討したい	22名	44%	活用は難しい	0
広報部会		29	67%		12名	27%		2名 5%

理由

- ・会議の活性化に使用したい。
- ・ファンリテーションの技術・会議の進行はぜひ身につけ活用したいが、現状の会議ではそこまで・・・。
- ・広報誌作成の時に見やすい記事作りに役立てたいと思ったから。
- ・記事の書き方、写真の撮り方など勉強になりました。

6 今後の開催について

本日の研修を来年以降の開催希望かどうか？

活動推進	是非希望する	22	46%	出来れば希望する	21名	45%	あまり希望しない	4名	9%
広報部会		20	50%		19名	48%		1名	2%

7 今後研修したい内容はどのようなことか？

- ・子どもの指導方法、子どもとの話し合い方
- ・魅力的な行事の開催の仕方
- ・他地域での活動事例報告
- ・広報誌の記事と写真の割合について
- ・ADHD、LD等の児童に対する考え方や接し方の研修
- ・人権・広報以外の研修

8 研修全体を通して気の付いた点

- ・とてもわかりやすく良かったです。
- ・時間が少し足りなかった。
- ・ワークショップ形式は良かったと思う。
- ・他校の役員の方と情報交換が出来て良かった。
- ・資料の字が小さくて、読めない、見えない。
- ・空調がききすぎて寒かった。